

研究・調査報告書

報告書番号	担当
132	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
題名 (原題/訳)	
Interactions between alcohol intake and the polymorphism of rs708272 on serum high-density lipoprotein cholesterol levels in the Guangxi Hei Yi Zhuang population. HDL コレステロール値に及ぼす飲酒と rs708272 遺伝子多型の相互作用について--広西壮族自治区住民での研究	
執筆者	
Zhou Y, Yin R, Deng Y, Li Y, Wu J.	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
Alcohol. 2008 Nov;42(7):583-91.	
キーワード	
HDL コレステロール値、rs708272 遺伝子多型、広西壮族自治区	
要 旨	
<p>目的： 飲酒およびコレステロールエステル転送タンパク(CETP)遺伝子多型の双方は HDL コレステロール値(HDL-C)に影響を及ぼす。しかし双方の交互作用については不明である。本研究は広西壮族自治区住民において HDL-C 値に及ぼす飲酒と rs708272 遺伝子多型の相互作用について検討した。</p> <p>方法： rs708272 遺伝子多型を 15～70 歳、342 人の非飲酒者と 416 人の飲酒者を対象に PCR 法を用いて解析した。rs708272 遺伝子多型と飲酒量の積を用いて共分散分析にて相互作用を検討した。</p> <p>結果： B1 型 rs708272 対立遺伝子頻度は非飲酒者で 65.8%、飲酒者で 64.7%であり差はなかった ($P>0.05$)。B1B1、B1B2、および B2B2 遺伝子多型頻度は非飲酒者でそれぞれ 45.0%、41.5%、および 13.5%； 飲酒者で 41.3%、46.6%、および 12.0%で差はなかった ($P>0.05$)。非飲酒者では HDL-C 値とアポリポタンパク(Apo) AI 値が B1B1 型に比べて B2B2 型において高かった (いずれも $P<0.05$)。一方飲酒者の中性脂肪(TG)値は B1B2 型に比べて B1B1 型において高かった (いずれも $P<0.05$)。B1B1 型の TG 値、HDL-C 値、Apo AI 値、および B1B2 型の HDL-C 値と Apo AI 値は非飲酒者に比べて飲酒者の方が高く ($P<0.05\sim 0.01$)、B2B2 型における LDL-C 値と Apo B 値、および B1B1 型における LDL-C 値は非飲酒者に比べて飲酒者において低かった ($P<0.05\sim 0.01$)。HDL-C 値は非飲酒者においては女性および遺伝子多型と正の相関があり (それぞれ $P<0.001$)、飲酒者においては年齢および飲酒量と正相関があった(それぞれ $P<0.005$、0.01)。</p> <p>結論： 本研究で B1 型 rs708272 対立遺伝子保有者は B1 型に比べて飲酒により血清 HDL-C 値と Apo AI 値が増加し、LDL-C 値が減少するという好影響をより受けることが判明した。</p>	